

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 24日		～ 2026年 2月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2026年 1月 24日		～ 2026年 2月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験値の高い専門職員(保育士・言語聴覚士・心理士)が毎日勤務しており、利用児各々に寄り添った療育の提供が出来る。	毎朝の朝礼や会議以外にも、職員間の風通しが良いので、普段から利用児に対するアプローチを話し合い、療育の狙いをぶれることなく統一している。毎日、個別療育と集団療育を実施している。	他施設に見学に行く機会を増やし、プログラムのアップデートを心がける。
2	食育にも力を入れており、畑を借りての野菜作り体験や栄養士監修の昼食を無料で提供している。	偏食のある子どもにも、畑での農業体験を通して食に興味を持ってもらい、昼食時には保育士が楽しい雰囲気の中で食事のマナーも伝えている。また、言語聴覚士が食べる様子を見て舌の動かし方などを指導し言葉の活性化へと導いている。	祝日やイベント日には、クッキングのプログラムを実施し、食への興味や自分で作る意欲・達成感を実感出来るようにしていく。
3	他機関等との連携を密に取っている。 (保護者・相談事業所・保育所・幼稚園・医療機関・協議会等)	保護者との面談、関係機関で集まったのケース会議、幼稚園・保育所への訪問を、子どもの様子を深く理解した職員が参加・実践。利用児のニーズにあった療育を実施している。	会議記録は作成しているが、全ての職員がしっかりと目を通し理解し、疑問に感じることは質問できる場を、さらに設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	希望される保護者同士が交流できるイベントが少ない。	畑での親子種まきイベントを1回開催し、好評であった。交流できるイベント回数を増やしたいと考えている。事業所内での夏祭りなどのイベントにも招待したいが事業所の広さを考えると困難。	親子交流では別会場を借りる等、実現に向けて可能な方法を模索していく予定。 会社内の同系列の事業所間でのイベント交流を企画していく予定。
2	日々の連絡は各家庭ごとにラインで行っている。個別の連絡帳はダイヤリーアプリで写真付きで細かく報告している。しかし、HPやSNS等で事業所全体の取り組みを保護者様や一般に向けて十分に発信できていない。	Instagramによる日々のプログラムの情報発信を定期的始めたが、まだ保護者様に対して周知できていない。	契約時にプライバシーに対する同意書は交わしているが、再度、SNSの種類ごと・メディア取材・その他、具体的に保護者様に示して同意書を交わし直し、その際に通達する。
3	職員の資質の向上を図るための研修を受講する機会や法人内での研修を開催する機会が少ない。	外部の言語聴覚士による「ことばの教室」を月2回実施し、そこに子どもと一緒に療育に携わる専門職員が付添い実地研修としているが度々、現場が人手不足になり入ることが出来ない日があった。	・現場職員のシフト管理で社内的な研修は必ず受けられるようにする。 ・職員が真に学びたい研修を聞き取り、参加できる環境作りをしていく。 ・運動療育等、他事業所への見学機会を増やす予定。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 Amelia

公表日 2026年 2月 27日

利用児童数 18

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2			今でもいいのですが、気持ちもう少し広いといいなとも思います。	お子様達が少しでも広いスペースで活動出来る様、家具の配置などを見直していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	3			もっと使いやすいトイレを作ったほうがいいです。	設備上新しいトイレの設置などが出来ない為、子ども用便器を大人用の便座の上に設置して対応おります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1				
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	2	4		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12			1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	3	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	5			
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8				5	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				3	避難訓練が行われているのか分からない 申し訳ございません。参加して頂いた方には連絡帳でお伝えしておりましたが、これからはSNS等も使い分けやすく発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2			4	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	1	1	子どもの安全確保のための計画は聞いたことがない	申し訳ございません。計画を立ててはおりますが、保護者様へ分かりやすくお伝えできるようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			毎日行きたいと楽しみにしています	ありがとうございます。とても励みになります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				アメリカ好きです	ありがとうございます。とても励みになります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		Amelia				公表日	2026年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8						
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	玄関が階段で少し反り返りあり（貸し物件） 手すりをしっかり持つよう指導				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2					
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8						
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8						
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	実施指導で改善される				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3		ST内でのディスカッションや研修に参加できる機会を設けたい			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8						
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8						
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8						
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8						
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8						
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8						
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8						
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8						

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	・農業体験でコミュニケーションしている ・1回だけ行えた	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSで情報発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8				